

仙台稲作情報 2026 (第2号)

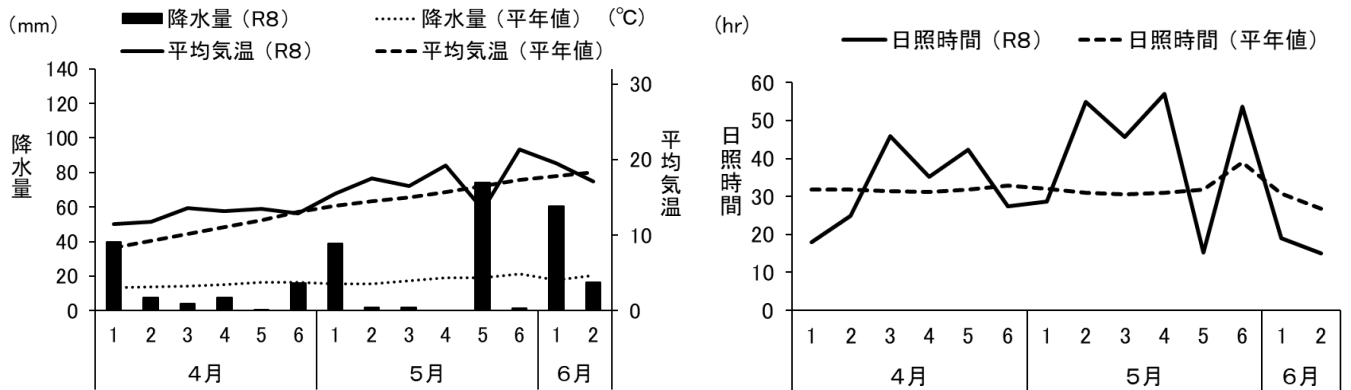
宮城県仙台農業改良普及センター TEL : 022-275-8410 FAX : 022-275-0296

http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai E-mail : sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

○栽培管理のポイント

- ▷ 適正な水管理で分けつの発生を促進させましょう。
- ▷ 雑草の発生状況を確認し、防除が遅れないようにしましょう。
- ▷ いもち病の発生源となる補植用残苗は速やかに処分しましょう。

1 気象経過 (仙台 令和8年4月第1半旬～6月第2半旬)



- ・ 4月から5月にかけて平均気温は平年よりも高く推移しましたが、5月第5半旬は平年より低くなりました。6月上旬は平年並みとなっています。
- ・ 降水量は、4月上旬、5月上旬、5月下旬から6月上旬にかけて多くなりました。
- ・ 日照時間は、4月は平年並みで5月はかなり多く、6月上旬は少なくなりました。

2 田植状況

- ・ 管内の田植盛期は、前年より2日遅い5月13日でした。

表1 管内及び県内の田植状況

	田植始期		田植盛期		田植終期	
	本年	前年差	本年	前年差	本年	前年差
管内	5月5日	前年並	5月13日	2日遅い	5月25日	1日遅い
(参考) 宮城県	5月5日	前年並	5月13日	1日遅い	5月24日	前年並

※ 「始期」は作付見込み面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行した時期

3 管内調査ほの生育状況

仙台湾沿岸のほ場では、草丈はほぼ平年並み、茎数は平年よりやや少なく、北部平坦のほ場では、草丈は平年より低く、茎数は少なくなっています（表2）。北部平坦のほ場では、5月下旬から6月上旬にかけて気温が一時的に低かったことにより、活着や分けつの発生が遅れたためと考えられます。茎数が少ないほ場では、下記の水管理を参考に分けつの促進に努めてください。

古川農業試験場の5月11日移植ひとめぼれでは、草丈、茎数は平年を上回り、葉色・葉数はほぼ平年並みとなっています（表3）。

表2 管内の6月10日生育調査結果

品種	地帯区分	調査地点		田植日	栽植密度 (株/m ²)	6/10調査		
						草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (GM)
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市 宮城野区	本年	5/16	13.5	29.7	88	31.8
			前年(比・差)	5/23	15.8	106%	90%	2.1
			平年(比・差)	5/18	14.7	98%	78%	-2.4
	北部平坦	大郷町	本年	5/24	15.3	20.1	86	31.9
			前年(比・差)	5/18	15.0	73%	75%	-4.6
			平年(比・差)	5/13	16.1	77%	44%	-7.9
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市 若林区	本年	5/13	13.5	31.4	136	38.7
			前年(比・差)	5/18	14.7	104%	87%	-1.4
			平年(比・差)	5/13	13.8	107%	92%	+1.4
にじのきらめき	北部平坦	大郷町	本年	5/15	19.0	30.9	196	38.0
			前年(比・差)	5/22	19.0	114%	179%	+6.6

※平年値は、直近5か年の平均値。にじのきらめきは、昨年から調査しているため平年値なし。

表3 古川農業試験場 生育調査結果（北部平坦 5月11日移植ひとめぼれ）

草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉色(GM)			葉数		
本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
24.9	100	104	297.4	92	109	40.6	-2.9	+0.2	6.4	-0.3	-0.1

※平年値は、直近5か年の平均値。

◆宮城県農政部みやぎ米推進課ホームページで県内の水稻生育状況等を掲載しています。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan/komezukuri.html>

4 本田管理

移植栽培

(1) 水管理

- ・分けつの発生を促進させるために低温時以外は2～3cmの浅水として水温・地温の上昇を図りましょう。
- ・「だて正夢」、「金のいぶき」は、茎数が確保しにくい品種です。適正な水管理で分けつを促進させましょう。
- ・低温（平均気温が概ね14℃以下）の時は、水深5～6cmの深水としましょう。
- ・自然落水したまま田面が露出しているほ場が散見されます。こまめに見回りして適切に水管理をしましょう。

- ・生わらなど有機物を施用したほ場では、高温によりガスが発生することがあるので、時々落水して土中への酸素供給とガス抜きを行い、根腐れを防止しましょう。

(2) 病害虫防除

いもち病

- ・ほ場に補植用残苗が散見されます。いもち病の発生源になりますので、裏返すなどして直ちに処分しましょう。
- ・箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、6月中下旬に水面施用剤を散布しましょう。
- ・「BLASTAM（ブラスタム）」が病害虫防除所のサイトで公開されていますのでご活用ください。 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>

【BLASTAM（ブラスタム）とは】

アメダスデータを基に葉いもち感染好適日を推定するシステムモデルです。いもち病の胞子が発芽、感染するためには次の条件が必要です。

- 1.葉面湿潤時間が10時間以上
- 2.葉面湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃
- 3.前5日間の平均気温が20℃～25℃

これら3つの条件が全て満たされると、いもち病の感染に好適な条件となります。感染好適条件が連続し県内広域で出現した場合、約2週間後に葉いもちの発病の増加が始まります。**水田を見回り発生に注意してください。**

(3) 雑草防除

- ・残草した場合、雑草の種類、除草剤の散布期限（ノビエの葉齢や収穫前日数）を確認し、中後期剤の使用を検討しましょう。
- ・ヒエやホタルイ類の雑草は、稲の出穂前に斑点米カメムシ類を水田に呼び寄せます。雑草の葉齢を確認して適切な剤を散布し、雑草が出穂する前の7月上旬までに防除しましょう。
- ・斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、7月中旬までに、ほ場周辺の休耕田や土手、畦畔等の除草に努め、畦畔では雑草の穂が出ないように管理しましょう。

乾田直播栽培

(1) 管内調査ほの生育状況

苗立ち数は210本/m²で、適正な出芽数が確保されており、6月10日の生育調査では莖数346本/m²でした。

表4 6月10日生育調査結果（乾田直播栽培） 苗立ち数調査：6月2日実施

品種	地帯区分	調査地点	播種日	苗立ち数 (株/m ²)	6/10調査		
					草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉色 (GM)
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市 若林区	4/10	210	27.9	346	34.5

※今年度から調査をしているため、前年値・平年値なし。

(2) 今後の栽培管理

①雑草防除

- ・水田を見回って雑草の発生状況を確認し、雑草が小さいうちに除草剤を散布しましょう。除草剤の選定に当たっては、雑草の種類や葉齢、使用時期（「ヒエ〇葉期まで」、「稲〇葉期以降」等）を確認し、直は水稻に登録のある剤を適正に使用しましょう。

②水管理

- ・分げつを促進するため、水深 2～3 cm の浅水管理とします。
- ・低温（平均気温が概ね 14℃以下）の時は、水深 5～6 cm の深水としましょう。
- ・生育が過剰になると倒伏や病害の発生が懸念されるため、そのような場合は落水管理を検討しましょう。

東北地方の向こう 1 か月の天候の見通し（6/13～7/12）

6/11 仙台管区気象台発表より抜粋

予報のポイント

- ・暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。
- ・前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう 1 か月の降水量は平年並か多いでしょう。

向こう 1 か月の天候

- ・平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

◆◆熱中症に気を付けて安全な農作業を心がけましょう！◆◆

これから気温が高くなると、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症対策として、以下の予防のポイントを心がけましょう。

・暑さを避ける

…高温時の作業は極力避けましょう

・こまめな休憩と水分補給

…水分補給は喉の渇きを感じる前に

・単独作業は避ける

…複数名で作業を行い、連絡を取り合しましょう

・熱中症対策アイテムの活用

…帽子や吸湿速乾性の衣服、空調服などを活用しましょう



(農林水産省 HP より)

◆農薬危害防止運動実施中！ (令和 8 年 6 月 1 日～令和 8 年 8 月 31 日)

- ・ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認しましょう。
- ・最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターのホームページで確認できます。<http://www.acis.famic.go.jp/ddownload/>

次回の稲作情報第 3 号は、6 月 19 日の生育調査結果をもとに 6 月 25 日頃の発行を予定しています